

令和2年度一般会計決算 ～議会はココに注目した～

一般会計決算特別委員会を設置し、令和2年度草加市一般会計歳入歳出決算を、2日間にわたり集中的に審査しました。一部ですが、主な内容を分かりやすくまとめましたので掲載します。

一般会計の 決算状況

収入額（歳入） 1,122億5,173万円
支出額（歳出） 1,064億4,842万円

一般会計 決算特別委員会 委員紹介

中野 修 委員長	井手 大喜 委員	飯塚 恭代 委員
菊地 慶太 副委員長	斉藤 雄二 委員	松井優美子 委員
金井 俊治 委員	芝野 勝利 委員	新井 貞夫 委員
田中 宣光 委員	吉沢 哲夫 委員	

新型コロナウイルス対策

PCRセンターを開設

ギカイの視点

問 PCRセンターについて、令和2年度末まで何件検査が行われて、陽性率がどの程度であったのか。

答 合計の検査数が2,112件。なお、陽性者の数は非公表。

問 非公表とのことだが、コロナ対策が進んでいる自治体などでは、保健所との連携が進んでいる自治体が多いと思う。保健所との連携は。

答 保健所の担当者と連携をしながら、各市内の学校、保育園、高年者施設等の感染拡大防止の連携を図っている。



光触媒を利用した抗菌処理を実施

ギカイの視点

問 公共施設の主な新型コロナウイルス対策は。

答 文化会館、アコスホール、中央公民館、スポーツ健康都市記念体育館、市民体育館の5施設において、光触媒を利用した抗菌処理を実施した。

問 公立保育園の主な新型コロナウイルス対策は。

答 各公立保育園において、保

育室の床と壁面、特に園児が触りやすい床面を中心に光触媒を利用した抗菌処理を実施した。

問 児童クラブの主な新型コロナウイルス対策は。

答 各児童クラブにおいて、通常の活動部分はもちろん、机やドアノブ、手洗い場の水栓回りについて光触媒を利用した抗菌処理を実施した。

サテライトオフィスの実施

ギカイの視点

問 サテライトオフィスのための電算委託料の内容は。

答 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年4月に行政機能、市民生活の維持を最優先に考え、各課を2チーム制として、サテライトオフィスを活用した分散勤務を実施することとした。

そのため、各施設で庁内パソコンが使用可能となるようネットワーク環境の整備を行った。

また、ネットワーク環境を整備した場所は、①第二庁舎の委員会室、②高砂コミュニティセンター、③中央公民館の第1・第2講座室と第1会議室、④保健センター、⑤新田駅周辺土地区画整理事務所である。



赤ちゃん応援特別給付事業の金額根拠は

ギカイの視点

問 赤ちゃん応援特別給付事業で他市では10万円を給付しているのに、本市の支給額を3万9,000円とした根拠は。

答 できるだけ支給する方向で検討し、地方創生臨時交付金の本市への交付額の中で、その他の事業との優先度や、限られた国費を少しでも活用できるよう調整・精査した結果、対象となる新生児を1,200人と見込み、コロナ禍での経済支援も考慮

し、併せて地域経済の活性化を狙いとして商品券で3万9,000円を支給することとした。



プレミアム付商品券を発行

ギカイの視点

問 予算の執行率は。

答 予算現額は3億7,000万円で、一部令和3年度に繰り越して実施しているので、途中の決算となるが、決算額は3億2,234万5,037円、執行率87.1%。

問 プレミアム付商品券の引換販売数、引換率、換金率等は。

答 プレミアム付商品券は、10万冊作成し、取りに来られた冊数は9万8,197冊で、引換率は

98.2%。

換金状況は、商品券が令和3年度にまたがったの使用期間であるため、あくまで令和2年度内に実行委員会において換金した割合は、87.6%まで達している。



図書館の感染予防対策は

ギカイの視点

問 図書館の新型コロナウイルス感染予防対策の内容は。

答 飛沫感染を防ぐためにサービスカウンターに透明のビニールカーテンを設置した。また、密を避けるために席を半数以下に減らし、定期的な換気と、接触感染防止のため、定期的に設備、備品の消毒などを1日数回行うなど、徹底的な感染予防に努めた。また、3階一般室、4階児童室の出入り口付近に書籍

除菌機を設置した。

図書館の利用については、新型コロナウイルス感染拡大防止図書館運営管理基準に基づき、来館前に健康状態の確認と検温、体調が悪い場合は利用を控えていただくこと、館内では咳エチケットやマスク着用や手洗い、手指の消毒の徹底のほか、密を避けるために滞在時間を120分以内とするなどの対策を行った。